

米子

## 設置や運搬手順確認 災害廃棄物処理の訓練



災害時に家具などの廃棄物運び込む想定で訓練に当たる参加者＝11日、米子市河崎の市クリーンセンター

地震被害を想定し、災害時に発生する廃棄物を仮置き場に運び入れるための実地訓練が11日、米子市河崎の市クリーンセンターで行われた。参加者は災害廃棄物を適正かつ迅速に処理するため、仮置き場の設置や運搬の手順を確認した。

訓練は環境省中国四国地方環境事務所の「災害廃棄物処理に関する仮置場設置運営モデル業務」の一環で、鳥取県内での実施は初め

て。市職員や県産業資源循環協会の関係者ら約20人が参加した。

参加者は、敷地内にコーン標識やブルーシートで災害廃棄物の仮置き場を設営。車で搬入された廃棄物が分別されているかどうかを入り口で確認した。仮置き場は不燃ごみや可燃性粗大ごみ、家電など種類ごとに10カ所に分かれ、車で各ブースに移動してタンスやマットレス、洗濯機などの

災害廃棄物をスムーズに運び込んだ。

同事務所資源循環課の松本充博課長補佐は「災害廃棄物を不適切な場所に捨てると、ライフラインが寸断されて復興の遅れにつながる。住民への分別の周知や仮置き場の場所の確定など迅速な対応が大切になる」と話した。  
(戸田大貴)